

深川東京

fukagawa tokyo modankan news

モダン館だより

主催 企画展

東京の 郷土食とは これ如何に？

11月1日(土)～16日(日)

※11月4日(火)・10日(月)は休館日



写真はイメージです

松ぼっくりの
コラボ



東京の郷土料理に選定されている「深川めし」にちなみ、郷土食の歴史についてひもといていきます。

また、深川めし振興協議会による深川めしの提供(11月3日11時～)

キッチン松ぼっくりによる千葉県郷土料理「まつり寿司」の提供(11月13日11時45分～)

もあります。 ※展示入場無料 各種食事は有料

11月のカレンダー

月	火	水	木	金	土	日
					1 企画展(～11/16)	2
3★ 深川めし 11:00～ 企画展(～11/16)	4 休館日	5 企画展(～11/16)	6	7	8	9
10 休館日	11 企画展(～11/16)	12	13★ まつり寿司 11:45～	14	15	16
17 休館日	18 嘶+話	19	20 	21 モダン館 円楽一門会	22	23
24	25 休館日	26	27	28 おきがる講座	29 圓橘の会	30

開館時間 10:00-18:00

★ 深川めし(11/3 11:00～) ☆ まつり寿司(11/13 11:45～)の提供日(有料)

11月の催し

共催

噺 + 話

11月18日(火) 14:00～

(開場13:30)

雷門音助「火事息子」

+ 龍澤潤「演題にちなんだ話」

予約・当日 1,500円

定員 20名

※10月28日(火) 10時から受付開始



共催

モダン館円楽一門会

11月21日(金) 14:00～16:00 (開場13:30)

楽麻呂 鳳志 好二郎 楽花山

演目は当日のお楽しみ

+ 「深川と落語にちなんだ話」 龍澤潤

予約・当日 2,000円

定員 50名

※10月28日(火) 10時から受付開始



共催

圓橘の会

11月29日(土) 15:00～ (開場14:30)

三遊亭圓橘・萬丸

「ねずみ」 “どうせ年をとるなら陽気な笑いでこの顔に皺をつけたい”
シェイクスピア『ヴェニスの商人』

岡本綺堂情話集より「黄八丈の小袖」

“マムシが這い出るのはきまってうららかな日だ”
シェイクスピア『ジュリアス・シーザー』

予約・当日 3,000円

定員 50名

※11月5日(水) 10時から受付開始



主催

おきがる講座

江東区の歴史を学ぶ講座

11月28日(金) 14:00～15:30

『木場名所図絵』の世界

受講料：500円 定員：50名(要予約) 講師：龍澤潤(深川東京モダン館)

※11月5日(水) 10時から電話で受付予約



尾高橋と尾高水門



【尾高橋】江東区民の憩いの場として親しまれている仙台堀川公園（北砂～東砂～南砂）は、かつての砂町運河を整備したものです。

砂町（大正10年まで砂村）が農村から工業の街へと発展をしていく中、船による輸送力向上を見越して運河の開削が計画されました。重ねて大正6年、高潮の被害を受け、砂町地区の復興と工業振興のために運河の開削が急務となります。そのような背景の中、大正8年民間による「東京運河土地株式会社」が設立され砂町運河の整備に携わりました。貢献したのは渋沢栄一の従兄弟で学問の師であった尾高淳忠の二男、尾高次郎でした。次郎は栄一の庶子ふみを妻に迎え、栄一とは近い関係でした。また、次郎は「城東電気軌道株式会社」の社長（大正4年～大正9年）として城東交通網等の開業にも携わっています。砂町運河は大正11年開削工事が着手し、大正12年5月第一期工事が完成しました。砂町運河と横十間川の合流点から運河に架けられた第一橋は、尾高次郎の功績を称え「尾高橋」と命名されました。第二橋は松島橋（現存。松島金太郎氏の同社に於ける土地買収に尽力）、第三橋は秋山橋（現・砂町橋。砂町の秋山家が同社創立に尽力）です。しかし次郎は流行性感冒（スペインかぜ）から腎臓炎を併発し、運河の完成を待たず大正9年2月55歳で亡くなっています。大正12年6月12日の尾高橋の渡り初めでは、渋沢栄一や次郎の妻ふみ、長男豊作や二男鮮之助が出席しています。

現在の尾高橋は昭和63年着工、平成4年に完成しました。区内の橋の中では、デザイン性に優れた大正モダンな設計（区内の某コンサルタント会社が設計）です。街灯柱の部分には「NERI LONGIANO ITALIA」と刻印されており、イタリアの歴史ある照明器具メーカーが起用されています。また橋下の通路は、煉瓦が張り巡らされ洗練された景観です。

【尾高水門】尾高水門は、仙台堀川と横十間川の交差する場所（尾高橋の近く）にありました。同水門は、昭和14年設置（木製扉）～昭和38年（鋼製扉）～昭和57年10月廃止まで、砂町地区を水害から守るため風雨に耐えてきました。しかし、長年にわたる地盤沈下や護岸の老朽化により災害の恐れがあるため、区は河川防災事業を行います。昭和53年度から56年度までの4年間で運河約2700m（東砂一丁目地先の桜井水門～南砂一丁目地先の尾高水門まで）の護岸を緑豊かな公園へと整備しました。昭和57年4月1日第一期工事が完成し「仙台堀川公園」が開園しました。こうして昭和57年10月、尾高水門は役目を終え、現在は遺構として、マイターゲート式の部品（水門の心臓部にあたるもの）が仙台堀川公園内の一角に置かれています（写真左下）。



現在の尾高橋からの眺め



昭和14年当時の尾高水門
(国会デジタルコレクション)



マイターゲート式の部品 遠目に尾高橋



(文と写真 江東区文化観光ガイド 井家 睦月)

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています（お支払いは現金のみ）

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター
コトミちゃんグッズ各種
（タオルハンカチ ぬいぐるみ等）
- ・江東区の名所を描いた絵はがき
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ
- ・キーホルダー
- ほか

コトミちゃんステンレスボトル
130mlのおでがるサイズ！

コトミちゃん
ステンレスボトル
ピンク・グリーン・ブルー
各 700円（税込）



百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒー各種をご提供しております。日替わりホットコーヒー、「モダン館ブレンド」（しっかり・すっきり）をご用意。まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00

休館日：月曜日

（月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります）



「深川東京モダン館だより」第148号（2025年10月16日）

発行 （一社）江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

